



担当：神山

会員企業の労働環境改善へ新たな取り組みを開始

一般社団法人山梨県鉄構溶接協会

一般社団法人山梨県鉄構溶接協会（板橋明好会長／会員50社）は、会員企業の職場労働環境改善と人材確保を目的に令和7年2月、人材確保等支援助成金※を活用した中小企業労働環境向上事業を新たに着手した。協会内に「労働環境向上検討委員会」を設置、会員企業の現状把握と課題解決に向けた具体策の検討を進めている。

鋼構造物製造・工事業界は、いわゆる「3K（きつい・汚い・危険）」のイメージが根強いいためか、若い世代からは敬遠される傾向にある。これを打破するため、協会の取り掛かりとして、会員企業への訪問調査を実施し、現場の声を吸い上げ、労働環境の改善に向けた現状把握と改善計画の策定を進めている。また、今後は県内の高等学校やポリテクセンターなどを訪問し、



若者たちの業界に対するイメージや就職先としての希望実態についてアンケート調査を行う予定である。

協会は「業界として、これまでのイメージを払拭し、安全安心で安定して働ける職場環境を整えることが急務と考え、業界の存在と魅力を知ってもらい、若者たちの就職先として選択肢の一つとして意識してもらえる存在になりたい。」と話す。

協会の役目として、今後ますます進む労働人口の減少を見据え、人材の確保だけでなく、雇用した人が定着し、長く働き続けられる職場づくりや、技術の継承を通じた人材育成の重要性を強く感じている。今後は調査結果をもとに、作業環境の安全性向上や教育体制の整備、職場と家庭との両立した環境改善といった具体的な施策を会員企業とともに策定し、業界全体での持続可能な発展を目指している。

※人材確保等支援助成金

中小企業団体助成コース

助成金額

改善計画の認定を受けた中小企業団体（事業協同組合等）が構成中小企業者のために、人材確保や従業員の職場定着を支援するための事業を行った場合に、要した費用の2／3を支給（上限額は、団体の規模に応じて600～1,000万円）

主な要件

事業協同組合などが、構成中小企業の人材確保や職場定着支援の事業を実施 等